

調査船調査による福島県沖のツブ類の資源状況

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

1 部門名

水産業－資源管理－その他魚種（海）

2 担当者名

安倍 裕喜・岩崎 高資

3 要旨

ツブ類は主に沖合たこかご漁業や底びき網漁業で利用される沖合性貝類である。近年の試験操業では操業が一部の漁場に集中しており、操業拡大に向けて漁場の有効利用を支援する必要があることから、ツブ類3種の調査船調査による震災前後の殻高組成の比較と、単位面積当たりの分布密度（以下、調査船CPUE）を個体数および重量について整理した。

調査した3種のうち、1種で個体の大型化、2種で調査船CPUEの増加が明らかとなった。操業拡大に向けて漁場分散を検討する際の資料とすることができる。

(1) シライトマキバイで大型化していることが明らかとなった（図1）。

(2) シライトマキバイ、エゾボラモドキで調査船CPUEが増加傾向であった（図2）。

(3) チヂミエゾボラは殻高組成、調査船CPUEに顕著な変化は確認されなかった（図1、2）。

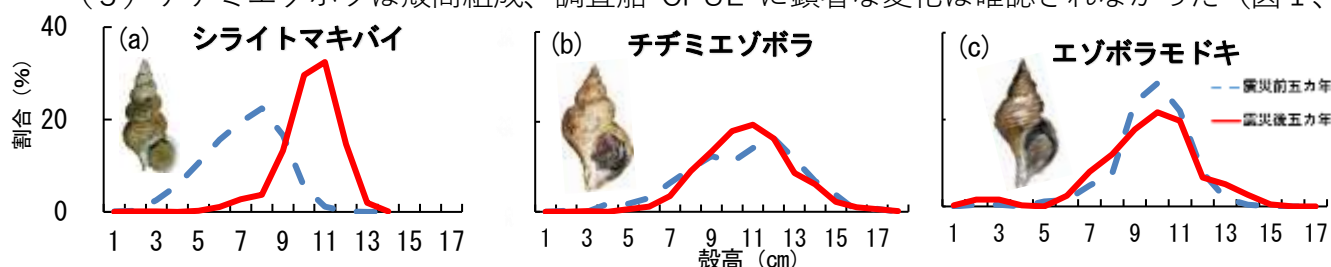


図1 震災前後の殻高組成比較((a):シライトマキバイ、(b):チヂミエゾボラ、(c):エゾボラモドキ)

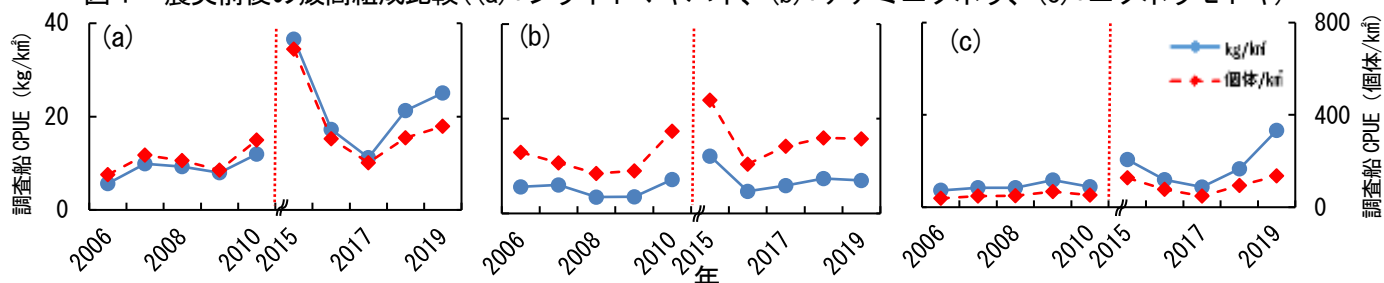


図2 調査船CPUEの推移((a):シライトマキバイ、(b):チヂミエゾボラ、(c):エゾボラモドキ)

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成28年度～令和2年度

(2) 研究課題名 底魚資源の管理手法に関する研究

5 主な参考文献・資料

(1) なし